

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8年5月7日				
スタジオみらい藤沢						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	13			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	13			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	1	・建物構造上が古いため改善していき。 ・階段やトイレに手すりが設置されている。 ・床が柔らかい素材である点がこどもたちが過ごしやすい環境づくりへ繋がっていると思う。	スケジュール掲示や視覚支援等を活用し、児童が見通しを持って過ごせる環境づくりを行っている。障害特性に応じた環境調整や安全面への配慮にも努めている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13		・毎日の掃除やおもちゃのアルコール消毒を行う。 ・日々使用した玩具屋をアルコールで除菌している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13		・静養室の設置や囲いを作るなどしていつでも1人で落ち着く空間を用意することが出来る。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	13		・こどもの新たな情報をミーティングなどで共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13		・定期的な面談や日々の会話の中で意見や考えを伝える・把握する機会が設けられている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11	2		現時点では第三者による外部評価の実施には至っていないが、自己評価や保護者アンケート結果を基に業務改善に取り組んでいる。今後は外部評価の活用についても検討していく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13		・定期的に研修が実施されている。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	13			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	12	1		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	12	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11	2	・もっとリレーションを計る為に地域の事業所との交流を増やそうと思っている。	ガイドラインを基に作成しているが、一部記載内容に偏りが生じる場合があるため、確認体制の見直しと職員間共有を行い改善に努めている。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13		・毎月ミーティングを実施し意見を出し合っ て内容を決めている。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・すぐホリユームがあり意欲的である。 ・色々なプログラムが実施されている。 ・こどものレベルに合わせて内容をアレンジしている。 	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	13			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・終礼時に本日あった気になる点や変化があった事を共有し記録している。 ・毎日ミーティングしている。 	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日話し合いを行い、また記録に残すと同時に当日出勤していない職員にも共有している。 	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・記録を取り共有している。 ・早い段階でICT化を進める。 	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	13			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・こどもに合わせて工夫されている。 ・ニューロアフォーミングを理解しスタッフと共有していく。 ・プログラムの際はもちろんのこと、日々の生活の中でおやつを自分で選んでもらったり、トイレに行く時間を自分で選んでもらっている。 	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	12	1		児童の状況や支援内容を把握している職員が参加できるよう努めており、会議内容については事業所内で共有を行っている。今後もより適切な情報共有と連携強化に努めていく。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1		必要に応じて関係機関との連携を行っているが、医療機関等との情報共有については十分でない場合もある。今後は連携機会を増やし、より円滑な支援体制の構築に努めていく。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの情報や相談員と適切な共有を行っている 	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	12	1	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点ではまだない。 	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	11	2	<ul style="list-style-type: none"> ・地域のおまつりや小学生の町探検受入をしている。 	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	9	4		業務調整等の都合により積極的な参加には至っていないが、今後は地域との連携強化を目的に参加機会を増やしていきたいと考えている。
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な面談や連絡帳への記録・送迎時の引き継ぎなどを通して状況を説明している。 		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	13				
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	13			

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	13			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	12	1		昨年度より保護者会の機会を設けるよう にさせていただきます。 今後も機会を増やせていけるよう検討 いたします。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13			
	42	定期的な通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13		・不要になった資料はシュレッダーにかける。ファイルの入った棚は施錠するなど留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	10	3		現時点では地域住民を招待した行事等は十分に実施できていないが、安全面や個人情報保護への配慮を行いながら、今後は地域との交流機会を段階的に増やしていけるよう検討している。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13		・定期的にテーマを変え研修を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	13			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	13			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	13			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13		・研修を行い対応を共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	13				